



まちなみ通信配信中

バックナンバーや今後のまちなみ通信は市ホームページやFacebookで見ることができます。

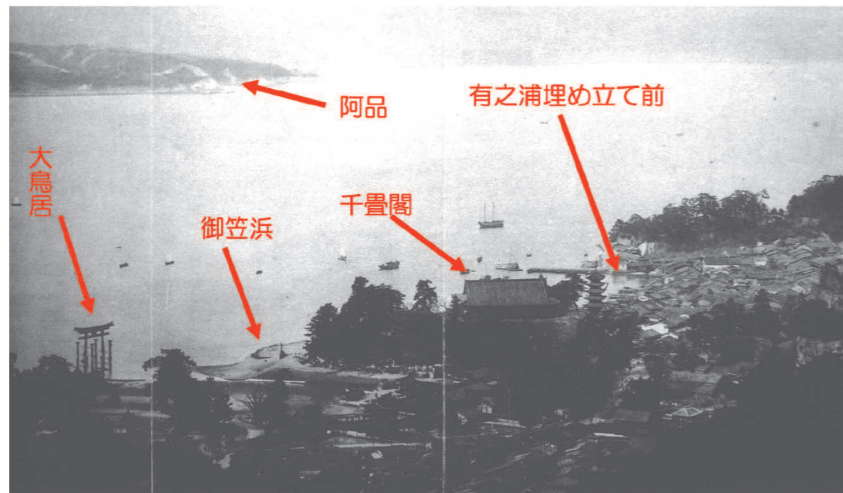


町並みホームページ



宮島町家 Facebook (フェイスブック)

今昔写真を見比べて



上の写真は、大正時代から昭和初期頃の様子です。島内の海岸線が、現在に比べて一回り小さいのがわかります。御笠浜は防波護岸がなく、砂浜の状態です。対岸の阿品はほとんど山のような状況で、家もビルも見えません。海に浮かぶ船は、小さな物が多く、中央のやや大きな船には、帆かけのポールが2本立っているように見えます。

下の写真は、現在の様子です。町並み、屋並みは昔も今も大きな変化はないように思われます。(上の写真が見えにくくてすみません) それに対して対岸には多くのマンションが建ち並び開発が進んでおり、大きな変化が見られます。島内の変化とすれば、海岸線がきれいになり、観光地として整備が進んでいます。海上には定期航路の JR フェリーと松大汽船のフェリーが行き交っています。

「特別史跡・特別名勝 厳島」って何？

文化財保護法の文化財の一つで、島内全域が指定されています。特別史跡は、遺跡として社寺や町家などが古くからあったこと、特別名勝は、海に立つ大鳥居・厳島神社、背後の弥山原始林など優れた景観であることが指定された理由です。全国でも特別が付く史跡名勝は他に、京都市の金閣寺・銀閣寺の境内や、東京都の旧浜離宮庭園などがあります。

島の中で工事や仮設物を設置する計画がある時は、事前に生涯学習課へご相談ください。

連絡先：生涯学習課文化財グループ

TEL (0829) 30-9205 FAX (0829) 32-5163

まちなみ通信 No.28 (令和3年9月1日) 発行

廿日市市建設部都市計画課歴史まちなみ推進係

TEL (0829) 30-9183 FAX (0829) 31-0999

現状変更に関してご相談ください

伝建の制度が始まって2年あまりが経過しました。地区内の皆さんには、まちづくりにご協力をいただき感謝しています。

宮島島内は、小さな工事や仮設物でも現状変更行為許可申請が必要になります。日常の維持管理に関する行為は申請不要ですが、事前に都市計画課へご相談いただければ、手続きの有無を含め、手戻り無くスムーズに事業ができるようお手伝いします。事前の連絡をお願いします。

連絡先：都市計画課歴史まちなみ推進係

TEL (0829) 30-9183 FAX (0829) 31-0999

まちなみ通信を知っていますか。宮島の町並みの魅力を紹介するため、毎月発行し、宮島地域で配布しています。今回は番外編としてまちなみ通信広報特別版をお届けします。

令和3年9月1日号

島野伝太郎一家の

まちなみ通信 No.28

～重伝建選定記念はつかいち広報特別版～



建吉：今年も暑い夏が続くのお。

みらい：おじいちゃん、こんにちは。今年のも船はどんなのを作るの。

うみ：みらいちゃん、いらっしやい。たのも船、できているわよ。みらいちゃんが健やかに育つようになって、おじいちゃん今年も頑張ったわよ。

建吉：ええのができたでえ。見てみるか。

みらい：見せて、見せて。わあ、すご～い、七福神が描いてある。瓦も乗ってるよ。障子も付いてる。

建吉：今年は重伝建選定のお祝いを入れてみたんじゃ。昔は五穀豊穡じゃったが、今は、家内安全やいろんな願いも入れるようになったけえのお。

うみ：そうね。明治時代の初めまで島内では農耕が



禁止されていたわね。対岸の人達に頼っていたから、農作物への感謝の行事として五穀豊穣だったわね。

建吉：対岸の大野や廿日市には世話になったわい。

マイク：みらいちゃん、こんにちは。たのも船すごいでしょ。今年は私も手伝いました。瓦の所は私が作ったんですよ。軒裏の腕木や持ち送りが再現したかったのですが、あきらめました。

みらい：マイクならできるよ。来年頑張るって。

マイク：はい、頑張ります。伝建の保存事業で本物の勉強できていますから、たのも船で古民家の模型づくり頑張ります。

伝太郎・もみじ：こんにちは、みらい来てます？

うみ：来てるわよ。たのも船を見てるわ。

伝太郎：みらい、父さんと伝建の建物見ながら散歩するんじゃないのか。今日は、内部を見せてもらえるんだぞ。

みらい：あつ、そうだった。一緒に散歩する約束してた。じゃあ、行ってきま～す。

もみじ：最近、伝太郎さんも町家の魅力にはまっちゃって。暇さえあれば町家の散策に出かけているわ。

建吉：みらいは本気で大工になるかもしれないわい。楽しみじゃ。宮島の町家の魅力は軒裏の文化で奥が深いんじゃ。伝太郎君は、だんだんそこがわかってきたんじやろうて。腕木があって、持ち送りがこうで……。

もみじ：長くなりそう。私も散歩に行こう。

【次回は、通常発行の予定です】



登場人物自己紹介 (通信の令和元年5月号に掲載)

島野伝太郎：岐阜県育ち。海の無いところで育ったので、宮島の島の魅力に引かれ、宮島に移住。今はサラリーマンだけど、将来は日本文化体験の店がやりたいと思っています。

もみじ：宮島育ち。移住してきた伝太郎と出会い結婚した。宮島島内の幼稚園に勤務しています。

みらい：伝太郎の娘だよ。おじいちゃんが大好きで、古いお家が好き。宮島学園2年生で～す。

鳥居建吉：もみじの父じゃ。宮島生まれの大工で、腕に自信がある。古い町家が大好きで、重伝建になって張り切ってる。

うみ：建吉の妻です。宮島踊りを守ってます。町家通りで雑貨・みやげ物店を経営してますから、皆さんごひいきにしてね。

マイク：僕ハ日本文化ヲ勉強ニ留学シテ、宮島ノ魅力ニ引カレ、移住シタ。今ハウミサンノ店手伝ツテル。時々建吉サンノ仕事手伝ウヨ。